

地域みんなで話し合い

どんぐりとピアノ はじまり、はじまり会議

開催
レポート
3回目

2023年
12月16日(土)
14:00-16:30
須賀小学校体育館

全3回、新しい須賀小学校&地域拠点を考えるワークショップ

参加者数：62名



「建築家さんの考え、 聞かせて、聞かせて」



最終回である第3回は、これまでの話し合いをもとに、須賀小学校地域拠点施設の諸室関係や諸室のゾーニング・配置などの提案内容を紹介しました。ワークでは、その内容に対して、使い手としての目線から、部屋同士の関係やスペースの活用について話し合いました。



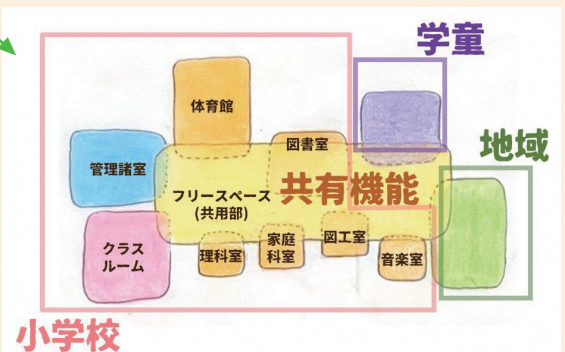
【お話の時間】建築家さんの考え、聞かせて、聞かせて

「地域との共有」を考え方の軸に置きました。

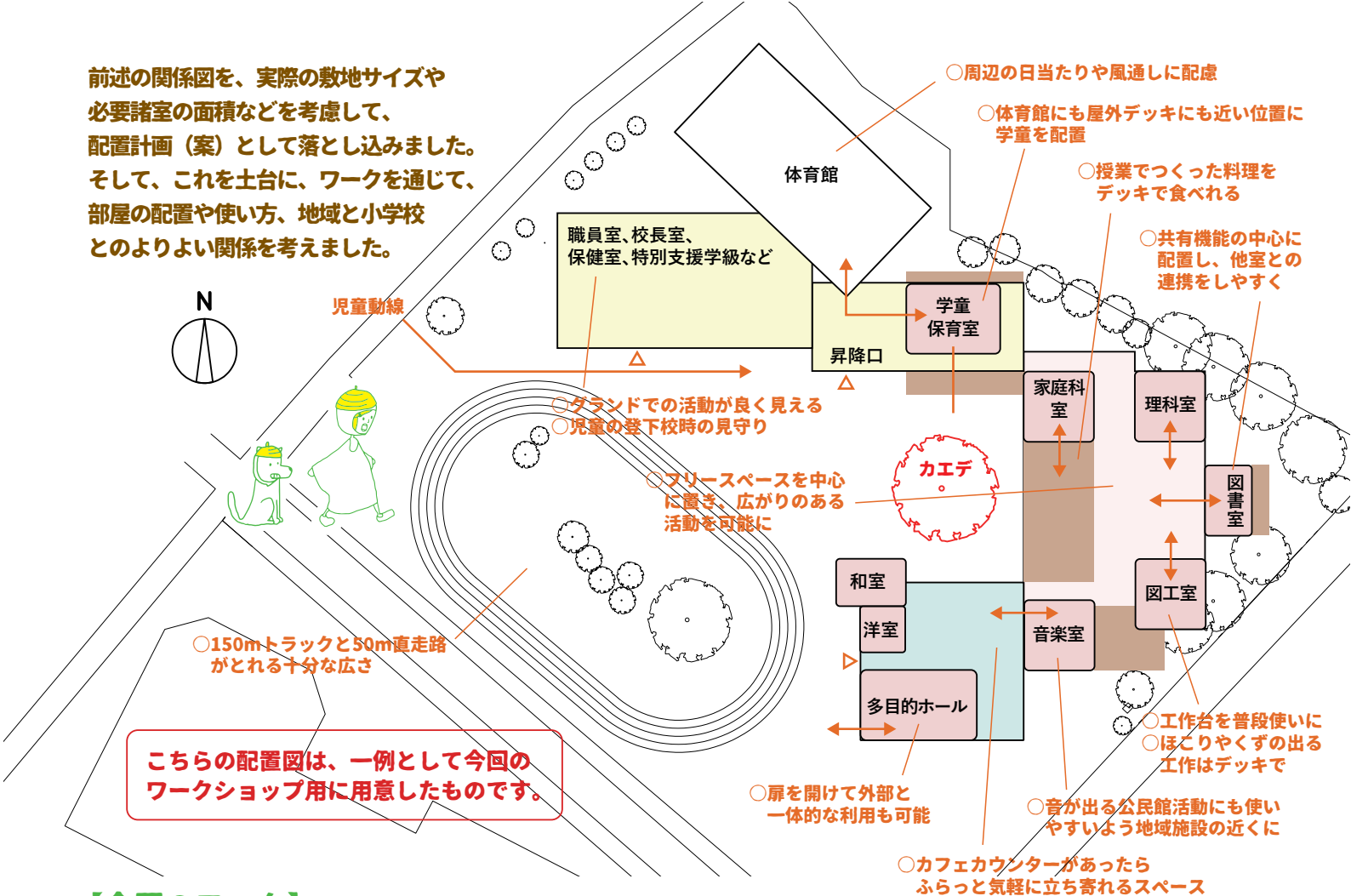
まず、それぞれの特別教室ごとに「どれくらい」地域と共有できるかを考えました。そして、これまでの会議で出してもらった「使い方のアイデア」を照らし合わせ、各共有機能の位置（配置）とバランスを整理しています。



- ① 共有機能の周りに学校と地域施設と学童を配置
- ② 地域と特別教室をどれくらい共有できそうかの可能性を加味し、共有部にはみ出す面積を検討。



前述の関係図を、実際の敷地サイズや必要諸室の面積などを考慮して、配置計画（案）として落とし込みました。そして、これを土台に、ワークを通じて、部屋の配置や使い方、地域と小学校とのよりよい関係を考えました。



【今回のワーク】

🍎（前回に引き続き）テーマに分かれて話し合おう！

今回設定したテーマと、出てきた意見（抜粋）

図書

- ・施設内のどこでも本が読める
- ・特別教室に関係する本が近くにある
- ・縁側で食事をしつつ読書
- ・自由に楽器を試せる、音楽を視聴できる
- ・点字や外国語に対応
- ・色々な高さの椅子がある（多世代に対応）

音楽

- ・1ヶ所でも防音の場所
- ・段階的な防音と開放
- ・フリースペースに開く音楽室
- ・人が通るとBGMが流れる
- ・音楽室で演奏している様子が見えるように防音のガラス張り
- ・どんぐりピアノを置く場所
- ・いいスピーカーや音響設備の充実
- ・ウッドデッキステージ

図工

- ・工具を使った実例作品を展示
- ・展示物は分散配置で施設に統一感
- ・大きい紙を広げて絵を描けるスペース
- ・特別教室の活動が吹抜け越しに見えたら楽しそう
- ・特別教室が職員室寄りだと使いやすい
- ・きれいに分別しやすい廃材棚

家庭科

- ・調理と被服は衛生面のために分ける（被服と図工は同じ場所で作業）
- ・自由にミシンが使える
- ・かまどベンチ（防災）・夏休みにも使える
- ・子どもも大人も両方使いやすい家具がいいけど、大きすぎないもので柔軟な対応も必要

学童保育

- ・学童保育所に通っていない子も利用できるスペース
- ・学童保育所と地域施設は近い方が交流しやすい
- ・学童保育所に通いながら習い事ができる
- ・地域のロビーで迎いの保護者が待つ
- ・見通しよくつくって見守りやすく
- ・ビオトープを学童保育所の子どもが管理
- ・家庭科室が近くにあったら地域のボランティアの方におやつをつくってもらえる

地域施設

- ・ガラス張りで活動の様子が見える
- ・多目的ホールは外とフラットな感じでつなげる
- ・プロジェクターが使える大きな白い壁
- ・ホールに畳を敷いたりしまえたり
- ・駐車場から近い方がいい
- ・部屋を分割できる（災害時にも避難所を分けられる）
- ・畳の部屋だと座れない（広い洋室に椅子の方がよいかも）

建築家に挑戦

- ・低学年教室を1階に
- ・給食配膳動線（給食時間の確保）
- ・音楽室を小ホールの
- ・小さな子どもと遊べるスペース
- ・かえでの木の下で休憩するスペース
- ・学童保育所は駐車場に近い方がよい
- ・夏は涼しく冬は暖かい設計に
- ・中学校側からのエントランスも
- ・家庭科室の近くに菜園デッキ
- ・特別教室はよく使う学年の近くに

その他

- ・天候を気にせずに使え空間
- ・モルックができる場所



この2つのテーマを新たに追加！